

## 会議の概要

会議名	令和7年度 第1回宝塚市食育推進会議
開催日時	令和7年(2025年)8月21日(木) 午後2時~午後3時30分
開催場所	宝塚市役所4階 政策会議室
出席委員	佐々木委員、松岡委員、細川委員、岡橋委員、石谷委員、前田委員 日下委員、中林委員、池端委員、関口委員、前田委員、勝間委員 (12名)
欠席委員	飯山委員、安藤委員、日野尾委員、中西委員、酒井委員 (5名)
傍聴者数	なし
公開の可否	公開
1 開会	
2 議題	
(1) 市で取り組む食育に関する事業について ~令和6年度実績及び令和7年度計画~	
(2) 市内公立小学校における食育出前講座について	
3 連絡事項	
次回、令和7年度 第2回宝塚市食育推進会議 令和8年2月~3月頃に開催を予定	
4 閉会	

### (1) 市で取り組む食育に関する事業について~令和6年度実績及び令和7年度計画~

(会長)

まず、議題1「市で取り組む食育に関する事業 令和6年度実績及び令和7年度計画」につきまして、説明をお願いいたします。

(事務局)

事務局から資料1、2に基づき説明。

(会長)

ありがとうございました。ただいま、市が取り組む食育に関する事業として、令和6年度実績と令和7年度計画についてご説明いただきました。横断的な事業は、一部すでに終了しているものもございますが、それを含めたご報告でした。今のご説明に関しまして、ご質問やご意見をお願いいたします。

(委員)

番号1-20「給食事業」（資料1）についてお尋ねします。令和7年度の予算額が非常に大きいのですが、これは給食全体の経費が計上されているのでしょうか。

（事務局）

ご指摘のとおりです。ここには児童生徒が食べている給食すべての経費が含まれています。食育関連の部分だけを抽出して記載できれば良いのですが、それは難しいため、全額を計上しています。概算で約9億円弱が給食費全体に充てられております。

（会長）

ありがとうございました。他にご質問やご意見はございますか。

（委員）

多岐にわたる取組を拝見し安心いたしました。1点、資料の表の右端に「成果」とありますが、これは事業の効果と理解してよろしいのでしょうか。活動の結果や反省を集約しているのか気になりました。

（事務局）

表の「成果」欄は、効果を直接示すものではなく、14項目の重点目標との対応関係を示しています。つまり「どの目標に関わる事業か」を示す欄です。実際の効果や成果は、計画全体の進捗評価や事務事業評価の中で把握しています。

（委員）

成果の把握についてですが、各事業でアンケート等を実施しているのでしょうか。

（事務局）

第3次たからづか食育推進計画は5か年計画であり、計画の節目には市民意識調査を行い、成果を測定します。事業ごとの効果については、事務事業評価において毎年点検・評価を行っており、必要に応じてアンケート調査なども活用しています。

（会長）

ありがとうございました。他にご意見はございますか。なければ、本日も協力いただいている関係団体の方にご感想を伺いたいと思います。まず、宝塚栄養士会の方からお願いいたします。

（委員）

7月の「たからの市」で、大人向けにパネルを用いたクイズ形式の啓発を行いました。40代・50代の参加が多く、昨年度開催した、夏休みの時期に比べるとこどもの参加は少なめでした。パネルでは主食・主菜・副菜を揃える大切さなど、基本的な食生活を改めて意識していただけるよう工夫しました。

（会長）

暑い中ご協力いただきありがとうございました。次に、事業者の立場からお願いいたします。

（委員）

当店では地産地消や食品ロス削減の啓発のために、のぼりを設置しました。野菜コーナーに設置することで販売促進につながり、また消費期限が近い商品の横に掲示することで、消費者に分かりやすく伝えられました。実際に利用者からの反応もあり、効果を感じています。

（会長）

ありがとうございます。では、大学関係の方からも一言お願いします。

(委員)

私は4月から別大学に異動しましたが、市との連携は継続しています。現在は宝交早生イチゴプロジェクトを通じて、市や団体と協働し、食品残渣を活用した土づくりから野菜栽培まで取り組んでいます。小学校や地域での展開も進めており、環境教育・食育の両面で広げていきたいと考えています。

(会長)

7月の「たからの市」では私の大学の学生が子どもたちに弁当詰め体験を通じて栄養バランスを伝える活動をしました。子どもや保護者の学びとなると同時に、学生自身にとっても大きな経験となりました。

(会長)

ありがとうございました。10月の食育パネル展、食育イベント、11月のTAKARAZUKAベーカリー&カフェフェスなど、今後も予定が続きます。引き続き各団体の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

## (2) 市内公立小学校における出前講座について

(会長)

議題2に移らせていただきます。市内の公立小学校への出前講座について。事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

事務局から資料3に基づき説明。

(会長)

ありがとうございました。ただ今の説明を踏まえ、今後期待したいメニューや方向性について、ご意見をお願いします。

(委員)

実現性は別にして、例えば、たからの市で行った「お弁当作り」のようなことができたらいいと思います。学校でやれば高学年も楽しめるし、学べる良い機会になるのではないのでしょうか。

(事務局)

ありがとうございます。大学や学校と連携して可能であれば取り入れたいと思います。

(委員)

延べ9件、23回の開催では全23校の半分にも満たない。大事なことから全校で実施できる仕組みが必要ではないのでしょうか。

(事務局)

市や県の他の出前講座や企業の取組もあり、学校は複数の中から選んでいる状況です。この取組が全校に行き渡っていないのは課題ですが、教育委員会とも連携し、広がるよう努めます。

(委員)

私は蕎麦を作っていますが、ソバは雑草のように強く誰でも育てられます。こうした作物を学校や家庭で育てる体験を取り入れると良いのではないかと思います。

(事務局)

貴重なご提案ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(委員)

私のこどもは大きくなるまで包丁が上手に使いませんでした。昨年度の食育パネル展でおせち料理のパネルを見て、おせち料理を作ってみようと思いました。するとこどもがインスタに活用したいと興味を持ち一緒に作ることができました。

(会長)

生活様式の変化で、常識だと思っていることがそうでなくなっています。例えば急須でお茶を入れる経験がない家庭も増えています。当たり前と思わず、情報を更新して反映していく必要があると思います。

食育を担う側が常識を疑い、変化に対応していくことが重要だと感じます。実際に協力いただいた委員の皆様にご意見を伺います。味噌汁づくりに参加された方、いかがでしたか。

(委員)

味噌汁づくりの出前講座では、こどもたちは自然学校のカレー作りに向けての練習として、じゃがいもや人参を使いました。包丁やピーラーの使い方を教え、安全に取り組みました。多くの子が経験はあるものの、あらためて持ち方や使い方を正しく学べたと思います。

(委員)

学校の流しと作業台が同じ場所で、洗い物の水が跳ねるなど衛生面が気になりました。工夫が必要だと思いました。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。学校設備の課題などについても、気になるところがあることがわかりました。

(会長)

この出前講座は当会議の提案から始まった事業です。いただいたご意見を事務局で整理し、今後活かしていただきたいと思います。本日の議題は以上です。

### (3) 連絡事項

(事務局)

次回の会議は来年2月を予定しています。本日はご協力ありがとうございました。